只狩山

スコリアの源

只狩山と名付けられたこの穏やかな隆起は、ほぼ全体がスコリアという多孔質の玄武岩でできています。この石の穴は、噴火時にマグマ内にガスが閉じ込められ、それが冷えて固まることで形成されます。これはしばしばパホイホイ溶岩の噴出によって起こります。パホイホイ溶岩は、島の複数の浜で見られる滑らかな縄状・波状の形を残す低粘性の溶岩です。

軽量ながら、スコリアは丈夫で耐久性に優れ、建築材料として広く使用されています。スコリアでできた壁は、この島の円形の農地の周囲で見られます。また、スコリアは建物に使われたり、浸食を防ぐために排水溝に沿って設置されたりするほか、この地域特有の納屋の屋根と扉を除くすべての部分を建設するために使われます。

スコリアは多孔質であるものの、土壌に水分を保つのは得意ではありません。このため、只狩山周辺の岩の壁に囲まれた円形の畑では、コメの代わりにサツマイモ（sweet potato）が最も一般的な農作物となっています。